

8東病棟の紹介

■ 病棟の雰囲気 ■

8東病棟は、若いスタッフが多く明るい病棟です。『患者さんの為にできることは何か』を考えながら、後輩に教えたり、また先輩に相談したりしながら、チームワークよく頑張っています。

消化器外科の病棟のため、がんという疾患を抱えたり、手術の不安や疼痛などを抱えた患者様が多くいます。患者様の話を傾聴したり、一緒に悩んだりもしながら、一生懸命に看護に取り組んでいます。

◆ 病棟の自慢 ◆

8東病棟には、ストマ造設前に必要なストママーキング終了認定者が2名います。ストマが造設された患者様には、その患者様に適した材料選びや、患者様や家族の方への指導などを一人一人に合わせて丁寧に行っています。それを他のスタッフにも指導して、同じように患者様に対応できるようにしています。また、PEG コーディネーターや輸血認定Nsなど様々な資格を持ったスタッフがいます。

また、業務の中で疑問に思ったことを題材にして勉強会も頻回に行い、何でも話し合える向上心のある明るい病棟です。

■ ホームページメッセージからのメッセージ ■

私たちの病棟は消化器（食道・胃・胆肝膵・腸）の手術を受ける患者様が入院されます。癌を起因とした疾患が多く、身体だけでなく心のケアにも重点をおいて看護に当たるよう、日々心がけています。

入院日数が短期化される昨今では、目まぐるしく患者様も入れ替わります。多忙な日々ですが、そんな中でも『手術』という人生の一大イベントに少しでも関わることが出来ることや、手術を乗り越え元気に退院していく姿に大きなやりがいを感じる事が出来ます。

そんな貴重な体験のできる、最高の病棟です！

◆ 師長（管理者）からのメッセージ ◆

8東病棟は、40床の消化器外科の病棟です。最近では、最新医療の侵襲の少ないロボット支援下手術も行い、また殆どが内視鏡的な手術となっています。そのために、入院から退院までの期間が短くなってきています。私たちは、その手術に臨む患者様に対し、安心・安全に過ごせ早期に社会復帰できるように取り組んでいます。

入院時は、不安を抱きながら来院してくる患者様に対し、少しでも不安の軽減が図れるように寄り添っています。手術後は疼痛管理や早期離床に取り組み、患者様と一緒に頑張り、笑顔で退院されていくのを見て元気をもらっています。

また、時にはターミナル期の患者様もいます。家族の看護も含めながら、気持ちを傾聴したり、今できることは何かを患者様に聞き、家族の方とも一緒に考えながら、見守る看護をしています。

8東病棟のビジョンに『私たちは、患者に寄り添い自己を尊重した人間味のある看護を提供します。専門職として一人一人が責任ある行動をとり、多職種と連携を図り「さすが8東の看護師さん」と言われる病棟を目指します』を掲げ日々取り組んでいます。

患者様のことを大切にし、若いスタッフが多いため、活気に溢れ明るくチームワークのいい病棟です。ぜひ一度見学に来てみてください。お待ちしております。

